

区民協議会施設見学研修報告

令和6年1月27日（火） 本所防災館を見学

区民協議会では、災害時の避難体験をするべく20名にて東京都本所防災館を見学しました。当日の見学体験内容をお知らせします。

① VR 防災体験

VRヘッドセットを装着し、2つの体験をしました。1つ目は地震。大きな揺れはイスも揺れるため体感できます。その後の混乱、最後は天井落下に伴う暗闇と実際に体験しているような臨場感を得る事ができました。2つ目は火災。焦げくさい臭いまで漂ってきて、まさしく現場にいるという体感を得る事ができました。

② 防災体験ツアー 自然災害コース

・防災シアター

関東大震災の映像を見ました。「ノブさんからのメッセージ」というもので、ノブさんが自身のお子さんのために記した日記を基に作成されたものです。幼子2人を連れ、必死に逃げ命をつないだノブさんは何を見、どう行動したのか、現代に通じるヒントが隠されていました。

・煙体験

コースが複雑になっているため、ただ壁伝いに歩くだけでは壁にぶつかるということが良く理解できる内容でした。



・暴風雨体験



風速30m～50mの風と雨。最初、窓越しにその光景を見るとすさまじく、体験を希望する方が少なかったのが残念。体験してみると、係員の方がコツを教えて下さり、耐え抜くことができました。完全防水装備をしての体験。間違っても台風時に外に出ようとは思わなくなる貴重な体験ができました。

・都市型水害体験



都市型水害として、大雨時に地下やアンダーパス部分にはいけないということを体験できます。水深 30 cm 程度のものでもドアを開けるのが相当厳しいことや、車のドアを開けることも同様に相当難しいことが体験できました。



・地震体験

震度 7 と震度 6 の直下型とプレート型地震を体験できます。横浜防災センターでも体験できますが、支えにつかまり身を確保できるので、そこまで危険に感じないのだと今回よくわかりました。本所防災館はつかまることができないものが一切なく、しかも座っての体験となるため、もろに地震のゆれを体全体で感じる事ができ、体験者の中には転がるものもいるほどでした。



今回の様々な体験は、臨場感あふれる体験ができるように構成されているため、とても人気の高い施設となっています。頭では理解していても、実際にその場に立つと、体がどう反応するかはわからないものだと、改めて強く実感できる良い機会となりました。

